

WE 21Japan News

WE 21ジャパンニュース



特集

あなたを支えるひとがいる
あなたが支えるひとがいる
あなたが支えるひとがいる

めぐる
めぐる

CONTENTS

特集 あなたを支えるひとがいる あなたが支えるひとがいる 「アジア・友だち・みらい貯金」 これまでの歩み	1 ~ 4
お知らせ	5
	6

No. 58

WE 21ジャパンニュース

あなたを支えるひとがいる あなたが支えるひとがいる

WEショップは地域に暮らすさまざまな人たちが、衣類・雑貨の寄付やお買い物、ショップ運営のボランティアとして活躍しているお店です。収益は、世界20カ国以上の国や地域の人たちが生活の質を向上させ、自立して生きしていく力につながっています。今回は、WEショップに集まつた皆さんのが生み出した力が、世界で、そして日本で、誰に、どのように支えになつてているのかを紹介します。

世界の人とつながり、支えあう

WEショップへの衣類の寄付、支援先とのフェアトレードを通じて世界の人たちとつながり、支えあう関係が築かれています。

笑顔につながるジンジャーティー ～フェアトレードを通じた支えあい～

フィリピンの首都マニラから北に車で9時間、ベンゲット州という標高1,600mの山あいの村でジンジャーティーは作られています。先住民族の人たちが暮らすこの地域には病院がなく、家族の健康を守るために、家庭菜園で育てたショウガからジンジャーティー（ショウガ糖）を作つて飲んでいます。

10年以前からベンゲットの女性たちと交流を深めてきたWE21では、3つの村の住民組織からジンジャーティーを公正な価格で買い取っています。2010年4月から本格的なフェアトレードが始まり、現在29のWE21地域NPOが取り扱っています。

女性たちがジンジャーティー作りで得た収益は、子どもの学用品や町の病院の診療等の生活

みんなで楽しくジンジャーティーを作る
フィリピンの女性たち



村の集会場に集まってジンジャーティー作りをする 2010.2

カンボジアに思いをはせて チヨキチヨキ

～寄付された布が人形とボールに

カンボジアの保育支援NGO「幼い難民を考える会(CYR)」では、日本でのワークショップ「みんなで布チヨッキン」を通じて、人形とボールの道具をカンボジアに届けています。

WEショップでは、寄付された布地を使ってワークショップを開催。型紙に沿つてカットされた布は縫製の労働と送料に充てる募金とともにカンボジアに届けられ、女性たちがそれを縫うことで貴重な収入の機会になっています。

参加者からは「重労働をする子、保育園に通えない子、栄養失調の子、カンボジアの子どもたちの現状をはじめて知った」、「子どもを育てている同じ立場の大人が亡くなり、立場の大人として少しでも役に立てれば」という声も。

20年以上に渡る内戦で3分の1の人々が亡くなり、政府の予算が足りないため、3～5歳の子どもたちが通う保育園には遊具がないかもしれません。

保育園に届けられた人形とボールは、まずは先生が遊び方を学び、それを子どもたちに教えていきます。

これまでに12のWE21地域NPOがワークショップを開催。WEショップに集まる布が、幼い子どもたちの夢をはぐくむ心を育てています。



▲人形を手にするカンボジアの子どもたち



見本の人形とボールを前に型紙に沿つて布をカット
かかながわ 2009.1

無職のシングルマザーたちに収入を ～希望を見出すスリッパ作り～



スリッパ作りの腕を上げ、毎日仕事にはげむ
モンゴルの女性たち 2010.1

現在8のWE21地域
NPOがスリッパを販売。モンゴルの女性たちは収入があることで食事の回収が増え、仕事の目的を持つようになりました。日本に暮らす私たちがスリッパ作りを支え、シングルマザーたちが希望を持って生きていく力につながっています。

「朝、家を出る時に『仕事に行つてくるよー』って言えるのがうれしいの。」モンゴルのスマム街で暮らすシングルマザーのお母さんたちは、毎日羊毛フェルトのスリッパを作っています。もともと遊牧民だった彼女たちは、度重なる大雪や牧草地の砂漠化で暮らせなくなり、食料や収入を求めて都会のウランバートルにやつてきました。しかし仕事はなく、親戚の家に身を寄せながら貧困の中で暮らしています。

WEショップでは、NPO「国際交流は子どもの時から・アジアの会」を通じて、2009年秋からスリッパの販売を始めました。彼女たちが作るスリッパが市場で売れるように、好まれる色や形のデザインを何度もやり取りしてアドバイスをした結果、モンゴルの国営デパートや外国人観光客向けの民芸品店で取り扱ってもらえるようになりました。海外ではなく、モンゴル国内で評価され売れるものを作ることが、安定した収入の確保と自立につながります。



※世界地図は2009年度支援先
(35のWE21地域NPOとWE21ジャパンの合計)



1年かけて作り上げた裂き織り布を
お披露目 インド 2010.1

私たちはずどこかで誰かとつながり、支えあいながら生きています。

現在、私たちが生きている世界では、6人が1人が飢餓に苦しみ、戦争・紛争が絶えず起きています。同じ世界で生きるすべての人たちが過度の貧困から抜け出し、自分の能力を発揮しながら希望を持って生きていける社会をつくっていきたいものです。

そのために日本に暮らす私たちができるることは、自分が持っているモノや時間、能力、お金等を出し合いながら、世界の人たちとつながり、支えあう関係を築いていくこと。そこから平和な世界づくりがはじまります。

インド西ベンガル州、少数民族サンタ族の人たちが暮らす村では、暮らしを安定させ質を高めていくために、農村開発NPO「DRCS」を通じて多目的教育センター（MPEC）を作り、村にある資源を活かした多様な収入源づくりが行われています。生態系にやさしい野菜・果物づくり、保育園での栄養改善、古いサリーの裂き織りや刺繡、識字教育等、村ぐるみで行われています。

はじめて村を訪ねた5年前は、「コチコチに緊張していた女性たちでしたが、今では米粉の手作りおやつでもてなして

バッケ等を販売しています。世界の遠い場所、違った環境の中で、逆境に負けずにはつらつと生きる彼女たちに会う度に、「じゃあ日本で生きる私たちは何ができるだろう?」と振り返り、いつも励まされています。

くれます。また土曜市では、ゴザに座って野菜やカゴを売る女性たちの隣りでこちらも「WEショップ市」を出店したりと、毎年現地を訪問する中で顔の見えるつながりを築いてきました。そして現在では11のWE21地域NPOが、インドと日本をつなぐアイテムとして、彼女たちが作った裂き織りや刺繡の手さげバッグ等を販売しています。

逆境に負けないインドの女性たち ～人の交流を通じた支えあい～

無職のシングルマザーたちに収入を ～希望を見出すスリッパ作り～



私たちはずどこかで誰かとつながり、支えあいながら生きています。

現在、私たちが生きている世界では、6人が1人が飢餓に苦しみ、戦争・紛争が絶えず起きています。同じ世界で生きるすべての人たちが過度の貧困から抜け出し、自分の能力を発揮しながら希望を持って生きていける社会をつくっていきたいものです。

そのために日本に暮らす私たちができることは、自分が持っているモノや時間、能力、お金等を出し合いながら、世界の人たちとつながり、支えあう関係を築いていくこと。そこから平和な世界づくりがはじまります。

地域での人のつながりが生きていく力に

WEショップには、子どもたち、学生、子育て中のお母さん、働き盛りの会社員、高齢者、日常生活にハンディキャップのある方、外国籍の方等、さまざまな違いを持った人が関わっています。

若者たちのステップに

「社会にふれる、社会とつながる場づくり



地域のさまざまな人たちが集まる（WE SHOPあおばあざみ野南店）

何年も家から出られずに引きこもつていた、会社で人間関係につまずいてしまった等、対人関係に悩み、社会とのつながりが途切れ、20～30代の若者がWEショップで活躍しています。市民団体や行政のサポート機関を通じて、つまずいたり、引きこもつてしまつた若者たちを就労研修として受け入れ、他のボランティアと一緒に寄付品の仕分けや整理整頓、レジでの接客等、本人の希望に沿つて仕事をしてもらいます。研修が終わった後はそのままボランティアとして続ける人もいれば、別の就労に結びついた人もいます。

他者とのどのように関わればよいのか、呼吸が分からなくなってしまった彼らのそばに寄り添い、地域のさまざまな人たちが集まるWEショップとともに時間を過ごしてもらうことが、彼らにとって社会にふれる最初のステップになればと願っています。

販売できない木綿衣類がウェスに

「衣類を通じた地域福祉とのつながり

寄付された衣類の中には残念ながら販売できないものもあります。これらの衣類の半分は、故織維業者を通じて工業用のウェスや軍手等にリサイクルされています。WEショップの中では、木綿の柔らかいシャツ等を、地域にある高齢者入所施設や障がい者作業所等の福祉施設でウェスとして使ってもらっています。また販売しきれないWEショップへの寄付が地域で暮らす高齢者や障がいのある人たちの役に立ち、見えない糸でつながりながら、地域の福祉を支えています。



寄付された衣類を仕分ける（WE SHOPいせはら店）

外国人にルーツを持つ人たちへの理解を 多文化共生の場づくり

WEショップには、外国籍や、外国にルーツを持つお客様も多く訪れます。またWE SHOPひらつか旭店に隣接したカフェは、地域に暮らす中南米の方が作ったお菓子が楽しめる喫茶、英語や文化講座等、地域の市民が外国に涉り、知る入り口として、さまざまな交流の場となっています。

日本で暮らす外国籍の市民が増える一方、彼らが日本人の人と同じように住み暮らしていく環境は整っていません。日本語コミュニケーション、不安定な雇用、在留ビザ、DV（ダメティック・バイオレンス）等、抱える問題はさまざまです。

特に学齢期の子どもたちが未来を切り開く力となる日本語を十分に学べない状況は深刻です。解決へ向けて、学校や行政による支援だけではなく、同じ地域に暮らす市民として彼らの状況を理解し、できることを支援していくことが大切です。

外国籍の人たちが地域の一市民として暮らしていくよう、暮らしに必要な情報や支援を提供する団体を紹介する等、多文化共生の場づくりを進めています。



△多文化共生の場 “みんな de Café”
▼日本で暮らす外国籍の人たちとの交流



一人暮らしのお年寄りが地域で孤立したり、会社のリストラで社会とのつながりが途切れてしまう等、地域社会のつながりが薄れていく中で、そのつながりをもう一度つくり直そうとする動きが広がっています。

そして人間関係につまずいてうまく生きられなくなったり、ハンディキャップがあって他の人と同じようにできない環境の中では、その人の悩みや思いに寄り添ってくれる人がいて、どこかにその人の居場所があることが、再び立ち上がり生きていく力になります。

WE SHOPに集まる皆さん之力は、

世界で生きるすべての人たちが過度の貧困から抜け出す力に、日本では、社会とのつながりが途切れてしまった人たちやさまざまな違いを持った人たちを包み込みながら、ともに生きていく地域社会を創っていく力

となっています。

**あなたを支えるひとがいる
あなたが支えるひとがいる**

ちょっと寄付することが当たり前の社会へ

——「アジア・友だち・みらい貯金」これまでのあゆみ——



「アジア・友だち・みらい貯金」とは？

WE21 ジャパンは、「今日食べられる私から、不公正な世界の向こう側にいる、食べられないもうひとりの友だちに思いをはせ、見えない世界を想像することで分かち合いの思いを育てる」という目的の募金運動を2002年に始めました。これは同時に、寄付社会を広げるという目的もあります。シンボルとなるオレンジ色の貯金箱を WE ショップに置くほか、貯金箱自体も配布して、運動をより広げていくことをめざしています。寄付先は運動の目的に照らして決定され、2004年度から、日本国際ボランティアセンター(JVC)が実施するアフガニスタンでの活動に寄付されています。2006年度からは同団体への5年間の継続寄付を決定し、2010年度がその区切りの年度となりました。

シギ村の女子学校から 2人の教師が誕生

当初の2004-2005年度は、アフガニスタンでは「おんなに教育はない!」という文化も見られる中、シギ村で女子教育を進めるプロジェクトに寄付を届けました。校庭で敷物を敷いて勉強していた女の子たちのために、教室を建て、机やイスなど備品を設置しました。このシギ村の女子学校に通学した少女の中から2人の教師が生まれたとのこと、皆さまにご報告いたします。

2年間の寄付額は1,864,106円です。

子どもたちの力を 引き出す教員養成

2006年度からは、女子に限定せず、地域に根を張る支援を進めるために、シギ女子学校を含むナンガルハル県で行われている教育支援プロジェクトへの寄付を行なっています。治安も政治も混沌とする中、教育に関連する環境は整備されることなく、施設や教科書などハード面での遅れはむろん、教員の質の問題があります。そこで、教員への研修が重点的に進められており、成果が上がっています。

5年間の寄付額は2,474,157円です。貯金箱運動開始からの総額は4,338,263円にのぼります(2011年3月29日現在)。

これまでご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



弟の世話をする小学校3年生の少女 アフガニスタン (JVC 提供)

世界とつながる 「貯金箱」

ソ連による侵攻、9.11以降のアメリカの報復と侵攻などを経て、アフガニスタンの人びとの暮らしは30年以上に渡り、戦火の中です。日本政府も自衛隊医官を送るという話が聞こえてきます。関わりのないはずの国際情勢が人びとの命と暮らしを脅かす現実が続いている。この「貯金箱」は、厳しい状況で生きているアフガニスタンの子どもたちに思いをはせる機会となり、また子どもたちに、教育を通して、世界に眼を開く機会を提供することを可能にしています。

私たちは皆つながっています。WE21ジャパンは今後とも、この「貯金箱」の活動を続けていく予定です。

お知らせ

WE21 ジャパン 通常総会のお知らせ

日時：2011年5月21日（土）

第1部 13:00～ 総会

第2部 15:30～ 会員の集い

「先住民族の命と暮らしと文化を守る」

場所：開港記念会館 2階 6号室

● JR・市営地下鉄

「関内駅」徒歩10分

● みなとみらい線

「日本大通り駅」徒歩1分



会員になって活動にご参加ください

(年会費) 正会員

個人会員 10,000円

団体会員 50,000円

賛助会員

個人会員 6,000円

団体会員 10,000円

郵便振替

口座番号00210-9-46086

加入者名(特非)WE21ジャパン

他の金融機関からの振込先

ゆうちょ銀行 店番:029 店名:〇二九店

当座 口座番号:0046086

受け取り人名:(トクヒ)WE21ジャパン

東北関東大震災の被災者応援イベント 「みんなでバザー」

東北関東大震災で被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます。

WE21 ジャパンでは被災された方たちを応援するため、市民の皆さんと一緒に「みんなでバザー」を開催します。

WE21 ジャパンと市民による販売収益はすべて、復興に必要な支援に役立てます。

皆さんのブース出店をお待ちしています！（出店申込み切4/22（金））

日時：2011年4月30日（土）10:00～15:00（小雨決行）

場所：海老名中央公園

（小田急線・相鉄線「海老名駅」下車 東口から徒歩2分）

内容：WE21 ジャパン・・・全国からの寄付品の販売

市民の皆さん・・・ブースによる物品販売

主催：WE21 ジャパン 後援：海老名市、神奈川県

ご寄附のお願い

<寄付金>

郵便振替

口座番号00270-9-67540

加入者名(特非)WE21ジャパン

他の金融機関からの振込先

ゆうちょ銀行 店番:029 店名:〇二九店

当座 口座番号:0067540

受け取り人名:(トクヒ)ウニジュウイチジャパン

通信欄に「アジア・友だち・みらい貯金」、または「その他の寄付」とご明記ください。

<品物寄付>

WEショップへご持参ください。遠方の方は、WE21ジャパンまでお問合せください。

ボランティア募集

<WEショップ>

販売、仕分け・値付け等、WEショップでのボランティア。

お近くのWEショップへお問合せください。

<WE21ジャパン>

事務所、エコモのセンターでのボランティア、イベントボランティア。
WE21ジャパンまでお問合せください。

WE21ジャパンのビジョン

私たちは、地球に住み暮らすあらゆる人々が、生きるために必要な条件や権利が公正なルールによって保障され、自律した地球市民として行動できる社会の創造をめざします。

WE21ジャパンのミッション

私たちは、地球規模で起きている資源の奪い合いや環境破壊・貧困をなくし、環境や人権について考え・行動する市民を地域に拡げます。そして次世代へ希望ある市民社会をつなぐために、一人ひとりが身近にできる事から実践します。

寄付・会員の報告 (2010年12月～2011年2月) (敬称略)

● アジア・友だち・みらい貯金

田平 尚代	重田 裕子	高階 紗乃
上野 清美	田辺 優子	土屋 弘美
浅羽 祐子	渋谷 美由紀	高橋 智恵子
植田 恵美子	賀川 恵子	WE21藤沢
中村 美代子	成瀬 源子	WEショップざま相武台店
水上 千恵子	長瀬 恵美子	WEショップあさお
菊池 つや子	柴田 初枝	WEショップざま入谷店
藤井 あや子	芝宮 清美	WEショップよこすか北久里浜店
鬼頭 裕子	湯本 綾子	WEショップさいわい
新関 恵子	常石 登志子	WEショップほどがや天王町

WEショップたかつ

WEショップさむかわ

WEショップさかえ

WEショップやまと

WEショップいそご洋光台店

WEショップえびな

WEショップえびな

WEショップにのみや

WEショップせや

鯨井恵美

谷口 珠枝

東藤 涼子

鈴木 正子

長瀬 恵美子

賀川 恵子

アワーズ施設長

吉弘 初枝

WE21ほどがや

渋谷 美由紀

株式会社ベルモ 福井 誠

岡山大学生協学生委員会C.C.C!

古田 努

株式会社ノルコーポレーション

企画部 粕谷 茜

● フィリピン・ベンゲット復興基金

WE21さかえ WEショップざま入谷店

● その他の寄付金

● 品物の寄付

東京青果株式会社 東芝物流株式会社 西尾レントオール株式会社 フェリス女学院大学ボランティアセンター

物品寄付総数 407件

会員数(2011年2月28日現在) 個人正会員110名 団体正会員42団体 個人賛助会員20名 団体賛助会員3団体 学生会員1名



WE21ジャパン地域NPO法人一覧

地域NPO	住所	TEL	地域NPO	住所	TEL
WE21ジャパン厚木	厚木市中町3-18-5	046-296-2555	WE21ジャパン青葉	横浜市青葉区柿の木台14-14	045-978-4198
WE21ジャパン相模原	相模原市若松4-13-3	042-744-9799	WE21ジャパンかながわ	横浜市神奈川区松本町2-18-12	045-412-6757
WE21ジャパン海老名	海老名市中央1-14-46-102	046-235-4047	WE21ジャパンほどがや	横浜市保土ヶ谷区川辺町2-2-103	045-334-5140
WE21ジャパン大和	大和市福田1-9-4	046-269-1343	WE21ジャパン旭	横浜市旭区中希望が丘101-21	045-364-3277
WE21ジャパンざま	座間市入谷4-1881-28	046-251-3720	WE21ジャパンみどり	横浜市緑区中山町218	045-937-2656
WE21ジャパン伊勢原	伊勢原市石田670-7	0463-96-5752	WE21ジャパンつるみ	横浜市鶴見区豊岡町13-29	045-573-3235
WE21ジャパンあやせ(準備会)	綾瀬市寺尾中1-8-3	0467-78-8178	WE21ジャパン都筑	横浜市都筑区茅ヶ崎中央30-14	045-948-5596
WE21ジャパンひらつか	平塚市代官町11-30	0463-22-5258	WE21ジャパンこうほく	横浜市港北区大豆戸町60-1	045-547-6241
WE21ジャパンにのみや	中郡二宮町二宮1308-1	0463-71-4421	WE21ジャパンせや	横浜市瀬谷区三ツ境21	045-391-7410
WE21ジャパン藤沢	藤沢市藤沢1102	0466-24-6002	WE21ジャパンいづみ	横浜市泉区中田東3-16-5	045-802-0095
WE21ジャパンちがさき	茅ヶ崎市共恵1-6-20	0467-88-6015	WE21ジャパンいそご	横浜市磯子区森2-1-10	045-761-3198
WE21ジャパンおだわら	小田原市栄町3-12-4	0465-23-2909	WE21ジャパン港南	横浜市港南区港南台3-16-1	045-832-7343
WE21ジャパン寒川	高座郡寒川町岡田351	0467-75-8141	WE21ジャパンかなざわ	横浜市金沢区泥亀1-18-8	045-788-4248
WE21ジャパンたかつ	川崎市高津区溝口3-15-8	044-829-5238	WE21ジャパンとつか	横浜市戸塚区矢部町291	045-866-0088
WE21ジャパンさいわい	川崎市幸区南幸町2-13-1	044-533-1248	WE21ジャパンさかえ	横浜市栄区桂町177-1	045-895-7009
WE21ジャパンたま	川崎市多摩区布田21-3	044-945-2427	WE21ジャパンみなみ	横浜市南区南太田3-5-4	045-715-4410
WE21ジャパンみやまえ	川崎市宮前区宮前平1-6-14	044-854-6561	WE21ジャパンよこすか	横須賀市根岸町3-15-12	046-837-1788
WE21ジャパンあさお	川崎市麻生区万福寺1-10-101	044-954-1348			

※WE21ジャパン地域NPOがWEショップを運営しています。
※WE21ジャパン地域NPOでは、会員、寄付金を受け付けています。

編集後記

東北関東大震災で被災した人々は食料、水、燃料などを皆で少しづつ分けあい、被害のなかった地域の人々は物品・お金の寄付やボランティアをし、そして世界からはたくさんのお見舞いメッセージや支援が集まっています。お互いの顔を知らないても、また国の政治・経済事情にかかわらず、つながり、支えあう人の温かさを実感しています。
(森田)

WE21ジャパンニュース No.58

発行 2011年4月1日

発行責任者 藤井あや子

特定非営利活動法人WE21ジャパン

〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町11-5栄町第2ビル3階

Tel 045-440-0421 Fax 045-440-0440

E-mail:info@we21japan.org

URL:<http://www.we21japan.org/>